

第2回 【保健】 現代社会と健康

私たちの健康のすがた

今回の学習内容

私たちが生涯、健康で生活するためには、まず、わが国の健康のすがたがどのようなになっているのかを知ることが必要です。今回は、健康の程度をあらわす「健康水準」を把握し、生活習慣病の増加や新たな健康問題について解説します。



講師
長岡 邦子
(学習メモ執筆)

壇 蜜 先生

わが国の平均寿命などの健康指標の変遷

わが国の健康について考える時に、健康の程度をあらわすのは「健康水準」です。この健康水準は、平均寿命や乳児死亡率、受療率などをもとにします。そしてこれらを「健康指標」といいます。ここでは平均寿命の変遷を見ながら現在の状況を学びます。

わが国の健康水準向上の背景

健康水準が向上した理由として、社会経済の発展が大きくかかわっています。それにより食生活が豊かになり、生活環境が改善され、病気に対する抵抗力が増加しました。また、ここでは、健康水準が向上した背景について学びます。

生活習慣病などの増加と新たな健康問題

近年、生活習慣病が日本人の死因の多くを占めています。その原因を考え、生活習慣を見直す必要があります。また、新たな健康問題も出てきています。ここでは、生活習慣病と社会の変化とともに変わってくる健康問題について学びます

【参考資料】

1. 平均寿命の年次推移

年	男性	女性
1891 (明治 24) 年	42.8 (歳)	44.3 (歳)
1935 (昭和 10) 年	42.06	43.20
1947 (昭和 22) 年	50.06	53.96
1955 (昭和 30) 年	63.60	67.75
1975 (昭和 50) 年	71.73	76.89
2015 (平成 27) 年	80.98	87.14
2020 (令和 2) 年	81.64	87.74

出典：厚生労働省 第20回 生命表
令和2年簡易生命表の概況 主な年齢の平均余命

2. おもな死亡原因の順位の推移

年	1位	2位	3位	4位	5位
1940 (昭和 15) 年	全結核	肺炎及び 気管支炎	脳血管疾患	胃腸炎	老衰
1960 (昭和 35) 年	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	老衰	肺炎及び 気管支炎
1980 (昭和 55) 年	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	肺炎及び 気管支炎	老衰
2000 (平成 12) 年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
2020 (令和 2) 年	悪性新生物 (腫瘍)	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎

出典：厚生労働省 人口動態調査 (2020年)
5-11 死因順位別にみた年次別死亡率 (人口10万対)

このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。